

事業の実施計画と実施状況

事業計画	実施状況
<公益1>県民スポーツ・文化推進事業 1,014,918 千円 (1,032,618 千円) 1 競技力向上 321,660 千円 (351,279 千円) (1) 鳥取県競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。 214,081 千円 (246,853 千円) ①ジュニア育成のための競技者育成プログラム活用・実践事業 12,149 千円 (13,517 千円) ジュニア指導者講習会を開催することにより、県内指導者への周知を図る。また、カテゴリー別合同練習会を開催することにより、指導者の引き継ぎ・一貫性を充実させ、指導体制の強化を図る。 ②ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 4,400 千円 (4,400 千円) 特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。 ③運動部活動活性化事業 25,577 千円 (30,865 千円) ・中学生選抜選手育成・強化支援 6,873 千円 (6,873 千円) 競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。 ※中体連全専門部に対する事業実施 (20 競技) ・高等学校運動部指定合宿等支援 6,687 千円 (7,050 千円) 各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。 ※A指定、B指定、C指定に区分をし、配分。	<公益1>県民スポーツ・文化推進事業 1,003,608,687 円 1 319,575,180 円 (1) 211,993,013 円 ① 10,644,048 円 35 競技 (陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン) ② 4,359,591 円 19 競技 22 クラブ (水泳 2、ボート 2、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、ハンドボール、自転車、相撲、フェンシング、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳、カヌー 2、空手道、ボウリング、スケート、トライアスロン) ③24,904,428 円 ・ 6,814,468 円 19 競技 20 専門部 (陸上、水泳、サッカー、ホッケー、バレーボール、体操 2 (体操、新体操)、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、スキー、スケート) ・ 6,294,774 円 25 校 32 競技 75 部 A指定：35 部 B指定：12 部 C指定：28 部

・高等学校運動部指定特別指導者確保支援 5,708 千円 (5,414 千円) 指定校へ指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。 ・高等学校運動部指定外部指導者支援 6,309 千円 (11,528 千円) 各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。 ④県外等優秀アスリート受入支援事業 900 千円 (54 千円) 県外高校生推薦入試制度により、本県の県立高校へ入学する県外アスリートの受入体制の支援を行う。 @25 千円×12 月×3 人 ⑤特別ジュニア選手指定強化事業 42,819 千円 (49,744 千円) 各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。 ⑥指導者の育成事業 3,537 千円 (4,920 千円) 全国トップレベルの指導者の元に派遣、又は国内外の優秀コーチを招へい訪問等行い、県内の指導者の指導力向上を図る。 ⑦大学部指定強化事業 450 千円 (600 千円) 協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。 ※A～Dの4区分に分け、国体強化につながる部の支援を優先するよう変更。 ⑧社会人等選手指定強化事業 25,012 千円 (26,046 千円) 各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。	・ 5,598,360 円 2 校 2 競技 2 名 鳥取城北高等学校 相撲 レンツェンドルジ・ガントウクス 鳥取敬愛高等学校 バドミントン 日野由希江 ・ 6,196,826 円 外部指導者支援 1 4 校 3 2 名 ④ 900,000 円 県外推薦入試により、八頭高校（ホッケー部）に 3 名受入 ⑤ 43,882,972 円 2 7 競技（陸上、水泳、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、フェンシング、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン） ⑥ 2,727,471 円 2 1 競技（陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、ボウリング、スキー） ⑦ 585,756 円 3 校 5 部 鳥取大学（ボート、山岳、アイスホッケー） 鳥取環境大学（陸上） 米子工業高等専門学校（ヨット） ⑧ 26,754,926 円 2 7 競技（陸上、水泳、テニス、ボート、ボクシング、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、フェンシング、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、
--	--

⑨成年団体競技強化チーム事業 1,519 千円 (1,519 千円) 県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。 ※チアフル鳥取 (バドミントン)・米子クラブ (アイスホッケー) へのチーム支援。 ⑩優秀選手確保事業 3,098 千円 (3,223 千円) 成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。 ⑪特別指定競技国体強化事業 20,421 千円 (22,568 千円) 競技を指定して、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国体等での成績向上を図る。 ⑫医・科学サポート事業 4,192 千円 (6,858 千円) スポーツ医科学講習会等事業 医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。 ※県内外医療施設受診、乳酸測定器消耗品の購入、動作解析等先進地の視察、栄養サポート講習会、指導者クリニック等	クレール射撃、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン) ⑨ 1,519,000 円 2 競技 2 クラブ アイスホッケー (米子アイスホッケークラブ) バドミントン (チアフル鳥取) ⑩ 2,000,000 円 3 名 (バドミントン、アーチェリー、空手道) ⑪ 19,706,621 円 8 競技 (サッカー、ホッケー、体操、バスケットボール、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、ラグビーフットボール) ⑫ 3,763,071 円 2 5 競技 (陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、軟式野球、相撲、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、ボウリング) ・トレーナー養成講習会 第 1 回 平成 3 0 年 4 月 8 日 (日) 倉吉体育文化会館 1 5 名参加 第 2 回 平成 3 0 年 1 1 月 2 3 日 (金) 倉吉体育文化会館 1 7 名参加 第 3 回 平成 3 1 年 1 月 1 3 日 (日) 倉吉体育文化会館 2 0 名参加 ・チームドクター派遣 (年 2 4 回) 鳥取中央育英高校陸上部へスポーツドクターを派遣 ・横浜スポーツ医科学センター受診 横浜スポーツ医科学センターにてアスリートチェックサービスを受診 延べ 1 2 人 ・ブラッシュアップ指導者研修会 日 時：平成 3 1 年 3 月 2 日 (土) 場 所：コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク県民体育館 講 師：藤井 瑞希氏 (再春館製薬所所属) ロンドンオリンピックバドミントン競技女子ダブルス銀メダル
---	---

⑬国体等強化備品整備 34,386 千円 (38,720 千円) 国体等強化備品の整備を行う。 ※水泳水球ゴール・フィールドロープ、ボートシングルスカル男子用・ボートシングルスカル女子用・ボートローパーフェクト、体操トランポリン、レスリングキャンパス、セーリングスピリッツ級ヨット、自転車ワットバイクプロ・自転車ディスクホイール・自転車トラックレーサー完成車・自転車ロードホイール・自転車練習用ローラー台、フェンシング電気審判器、バドミントンシャトルノックマシン、ライフル射撃ジュニア用射撃コート・ズボン、カヌースラロームC-1 艇、アーチェリー練習用洋弓完成品、スケートショートトラック用レーシングワンピース ⑭強化練習用消耗品等対策事業 16,513 千円 (16,513 千円) 国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。 ⑮安全管理対策事業 1,490 千円 (1,819 千円) 国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。 ⑯強化推進事業 16,005 千円 (20,776 千円) ・強化推進事業費（事務費） 1,080 千円 (1,041 千円) 競技団体との連絡・調整・指導等 ・競技力向上担当人件費 14,925 千円 (20,640 千円) 競技力向上対策事業を受託執行するための 3 名の人件費	参加者 47 名（競技指導者） ・スポーツ栄養講習会（男女にわけて 2 日間開催） 日 時：平成 31 年 3 月 4 日（月）、5 日（火） 場 所：とりぎん文化会館 講 師：山田 恭子氏（清水病院所属 管理栄養士） 参加者 4 日 135 名 5 日 36 名 ⑬ 33,368,820 円 12 競技（水泳、ボート、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、フェンシング、バドミントン、ライフル射撃、カヌー、アーチェリー、） ⑭ 15,939,520 円 12 競技（水泳、ボート、体操、セーリング、自転車、馬術、山岳、カヌー、クレ射撃、スキー、スケート、アイスホッケー） ⑮ 1,287,963 円 38 競技 ⑯ 18,243,357 円 ・各種委員会の開催、競技団体との意見交換会等に係る経費、その他事務費 1,063,469 円 ・3 名配置 17,179,888 円
---	---

⑰公認指導者資格取得・更新補助事業 97 千円（563 千円） 国民体育大会の監督資格要件として必要な日本体育協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の 1/2 補助を実施する。 ⑱わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 1,516 千円（1,516 千円） 【募集関係】 ア 情報収集活動事業 国体で入賞が期待される競技の指導者等を各種大会等へ派遣し、全国の競技力等の調査・分析を行うための経費を助成する。 イ 強化用消耗品・備品等整備事業 県の競技力向上対策事業費で措置されていない消耗品及び備品購入のための経費を競技団体に助成する。 【激励関係】 ウ オリンピック等出場選手激励事業 本県選手・本県出場選手に対し、激励金を交付する。 エ 国民体育大会入賞奨励金支給事業 国民体育大会において入賞した競技（種別）に対し報奨金を支給する。 【その他】 オ 強化推進費 鳥取県体育協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費を助成する。 （２）国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣を行う。 88,849 千円（87,854 千円） ①国体予選会の開催 2,694 千円（2,758 千円） 国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。 ②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣 32,000 千円（29,036 千円）	⑰ 63,800 円 3 競技 6 人（ホッケー 1、体操 3、レスリング 2） ⑱1,341,669 円 ア 3 競技 5 事業 （自転車 3、相撲、バドミントン） イ 1 競技 （体操） ウ オリンピック実施なし エ 1 6 競技 4 4 種目入賞 オ 競技団体への激励品等 （２）88,236,626 円 ① 2,507,473 円 国体選手選考のための県予選会を競技団体へ委託 40 競技 ② 36,068,215 円 ・国民体育大会中国ブロック大会
--	---

主に山口県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及び西日本(予選)で開催予定の全国予選会へ選手団を派遣する。 期 日 平成30年5月～12月 会 場 山口県内の各会場等 競技種目 水泳(水球)他35競技 ③第73回本国体及び第74回冬季大会への選手団派遣 52,868千円(53,860千円) ・福井県で開催される第73回国民体育大会(会期前・本大会)に選手団を派遣する。 (本大会及び会期前) 期 日 平成30年9月29日～10月9日 ※会期前実施競技は平成30年9月9日～9月17日 競技種目 陸上競技他36競技 ・第74回冬季大会に選手団を派遣する (スケート・アイスホッケー競技) 期 日 平成31年1月30日～2月3日 場 所 北海道釧路市 (スキー競技) 期 日 平成31年2月14日～2月17日 場 所 北海道札幌市 ④国体等派遣選手指導費 1,287千円(2,200千円) 県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。 (3) 競技力向上のための指導者確保事業 11,092千円(11,200千円)	期 日：平成30年5月26日(土)～8月26日(日)31競技 冬 季：平成30年12月8日(土)～12月9日(日)1競技 会 場：山口県内の各会場等 競技種目：水泳(水球)他31競技 ・フィギュアスケート競技全国予選会 期 日：平成30年12月8日(土)～12月9日(日)1競技 会 場：京都アクアアリーナ(京都府) ③ 48,461,602円 福井県を中心に開催された本大会に選手団を派遣 (会期前大会) 期 日：平成30年9月9日～9月17日 競技種目：水泳、クレール 2競技24名派遣 (開会式直前) 期 日：平成30年9月25日～9月29日 競技種目：自転車 1競技15名派遣 (本国体) 期 日：平成30年9月29日～10月9日 競技種目：陸上競技 他26競技322名派遣 ・北海道で開催される冬季大会へ選手団を派遣 (冬季大会 スケート・アイスホッケー競技) 期 日：平成31年1月30日～2月3日 場 所：北海道釧路市 競技種目：スケート、アイスホッケー競技 派遣なし (冬季大会 スキー競技) 期 日：平成31年2月14日～2月17日 場 所：北海道札幌市 競技種目：スキー競技 1競技43名派遣 ④ 1,199,336円 県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行った。 (3) 11,602,840円
---	--

鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。 ※ホッケー競技・セーリング競技 (4) JOC競技別強化拠点(セーリング)整備等事業 チャーター艇の整備・コーチングスタッフの確保 6,328 千円(5,899 千円) JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリーナにおける競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。 (5) アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日体協委託事業) 200 千円(200 千円) ・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。 ・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。 (6) 賛助会費事業 1,110 千円(1,000 千円) ①ジュニア期の一貫指導・育成支援事業 400 千円(400 千円) 全国での入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。 ②トップアスリート支援事業 300 千円(200 千円) 大学に進学したトップアスリートに競技を継続してもらうため、支援を行う。 ③医科学サポート事業 20 千円(50 千円) スポーツ栄養士を派遣し、スポーツ選手の体質改善等を図る。	体育指導員 2 名 (ホッケー、セーリング) (4) 5,233,354 円 体育指導員(コーチングスタッフ) 1 名配置 (5) 194,981 円 ドーピング講習会 日 時:平成30年8月30日(木)、9月21日(金) 場 所:8/30 とりぎん文化会館、9/21 県民体育館 講 師:徳吉雄三氏(徳吉薬局)両日 参加者:8/30 20 名 9/21 210 名 (6) 878,381 円 ① 383,834 円 高校運動部指定 13 校 20 部 ② 251,404 円 国体で入賞した大学生へ贈呈 5 競技 5 名(ボート、自転車、山岳、カヌー、トライアスロン) ③ 12,343 円 スポーツ栄養講習会(男女にわけて2日間開催) 日 時:平成31年3月4日(月)、5日(火) 場 所:とりぎん文化会館 講 師:山田 恭子氏(清水病院所属 管理栄養士) 参加者:4日135 名 5日36 名
---	--

④（新）未来アスリート支援事業 240 千円（0 千円） 各競技団体が開催しているジュニア教室を把握して一覧を作成。県内小学生へ配布し、競技人口の増加を目指す。 ⑤総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 50 千円（150 千円） 総合型地域スポーツクラブが指導者を招聘して教室開催等を行うことにより、会員確保やクラブ活性化を図る。 ⑥賛助会員体育施設利用券の発行 100 千円（200 千円） 鳥取県体育協会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付する。 （7）布勢陸上競技場電光掲示板整備事業 1,438 千円（0 千円） 布勢総合運動公園陸上競技場に整備した多目的掲示装置の保守点検を行う。	④ 199,714 円 チラシ作成 県内全小学校へ配布 31,200 部作成 126 校へ配布 ⑤ 20,486 円 ・連絡協議会の開催 第1回 平成30年6月30日 場所：倉吉体育文化会館 参加者10名 第2回 平成31年3月 9日 場所：倉吉体育文化会館 参加者11名 ・東・中・西部地区交流会の開催 東部 平成30年11月10日 場所：気高町農業者トレーニングセンター 16名 中部 平成30年12月 1日 場所：関金総合運動公園体育館 45名 西部 平成30年11月17日 場所：境港市民第2体育館 31名 ⑥ 10,600 円 発行枚数：367枚（団体332枚、個人35枚） 利用枚数：26枚（布勢15枚、産体10枚、皆生1枚） （7）1,435,985 円 布勢総合運動公園陸上競技場に整備した多目的掲示装置の保守点検を実施。
---	--

2 生涯スポーツ推進 52,352 千円 (43,113 千円) (1) 広域スポーツセンター事業 26,716 千円 (26,051 千円) ①スポーツ好きな子どもを育むスポーツ体験事業 2,773 千円 (2,773 千円) 複数種目によるスポーツ体験イベントの開催やスポーツアスリート派遣を行い、子ども達のスポーツへの興味・関心を広げることで、県内のスポーツ人口の拡大・ジュニア育成を図る。 ②総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 230 千円 (650 千円) 総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。 ③(新)クラブアドバイザー配置事業 5,007 千円 (0 千円) クラブ設立・運営支援等を行うためクラブアドバイザーを配置する。 ④クラブマネジャー研修事業 120 千円 (250 千円) 総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象としたクラブ運営に関する研修またはクラブマネジャー資格取得講習	2 46,835,634 円 (1) 23,090,178 円 ① 2,771,681 円 ・とっとり Jr. スポーツフェス 2018 日 時：平成30年4月29日(日)12:00~16:00 場 所：鳥取県民体育館 講 師：山本隆弘氏(応援アドバイザー)、大畑大介氏(ラグビー) 池田信太郎氏(バドミントン)、中田有紀氏(陸上) 参加者：33 名(小学生) ・わかとりっこ育成体験会 日 時：平成30年11月3日(日)10:00~16:00 場 所：鳥取県民体育館 参加者：490 名(小学生) ② 169,994 円 ・研修会 日 時：平成30年9月8日(土)10:00~16:00 場 所：倉吉上井公民館 講 師：佐藤 充宏 氏(徳島大学総合科学部 教授) 内 容：総合型地域スポーツクラブの課題を考える講演とワークショップ 参加者：17 名 ・指導者派遣 対 象：けたかスポーツクラブ 日 時：平成30年12月8日(土)9:00~15:30 場 所：鳥取市気高支所件雌雄室 講 師：佐藤 充宏 氏(徳島大学総合科学部 教授) 内 容：クラブ役員ヒアリング、会員等との意見交換、クラブ指導 ③ 4,315,307 円 1 名配置 ④ 120,924 円 研修会 日 時：平成30年6月9日(土)、10日(日) 場 所：倉吉体育文化会館
--	---

会を行う。

⑤鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 636 千円 (771 千円)
県内スポーツ施設、スポーツイベント、鳥取へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。

⑥第19回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業
7,701 千円 (7,701 千円)
広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

- ・夏季大会 3 種目
期 日 平成30年8月25日～26日
会 場 東部地区中心に全県で開催
- ・秋季大会 3 1 種目
期 日 平成30年10月27日～28日
会 場 東部地区中心に全県で開催
- ・冬季大会 4 種目
期 日 平成31年2月10日
会 場 東部地区中心に全県で開催

⑦大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 3,683 千円 (6,611 千円)
本県体育協会と江原道体育会との協定(2001年11月6日協定)に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。
30年度は江原道を訪問。

【スポーツ交流大会 3 競技】

- ・ソフトテニス(少年男女)・フェンシング(少年男女)
- ・卓球(成年男女)

期 日 平成30年12月(予定)

参 加 者 3 競技の監督、選手、体協役員等

講 師：間屋口 貴仁 氏(地域スポーツ推進協会)

米谷 正造 氏(川崎医療福祉大学教授)

内 容 ・クラブマネジャーの役割、クラブの運営

・総合型地域スポーツクラブとは、クラブの現状、クラブの作り方

受講者：6名

⑤ 635,256 円
スポーツ施設、スポーツイベント、宿泊施設等の情報を掲載。

⑥ 7,671,134 円
第19回県民スポーツ・レクリエーション祭の開催

○夏季大会 5 種目

期 日：平成30年8月25日～26日

会 場：鳥取県営東山水泳場、他4会場

参加人数 1,160名(前年度1,100名)

○秋季大会 3 2 種目

期 日：平成30年10月27日～28日

会 場：東部地区を中心に開催

参加人数：8,345名(前年度6,077名)

○冬季大会 5 種目

期 日：平成31年2月10日(日)他

会 場：大山ホワイトリゾート 他4会場

参加人数：648名(前年度618名)

⑦ 3,302,804 円

大韓民国江原道とのスポーツ交流事業

実施競技：ソフトテニス(高校男女)、フェンシング(高校男女)、
卓 球(成年男女)

期 日：平成30年12月7日(金)～12月11日(火)

開催場所：大韓民国江原道

参 加 者：鳥取県選手団45名

⑧広域スポーツセンター人件費 6,566 千円 (7,295 千円) 広域スポーツセンターの事業を受託執行するための 1 名分の人件費。 (2) 体協表彰事業 2,000 千円 (2,000 千円) スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。 期 日 平成 3 1 年 2 月下旬 場 所 未定 【表彰内訳】 体育功労章 若干名 優良団体賞 数団体 優秀指導者賞 若干名 特別賞 国際大会出場者等 スポーツ賞 全国大会等上位入賞 スポーツ敢闘賞 全国大会等下位入賞 スポーツ奨励賞 全国規模大会入賞者 (3) 公認スポーツ指導者事業 1,573 千円 (1,500 千円) ①公認スポーツ指導者養成講習会の開催 (日体協委託事業) 1,106 千円 (1,106 千円) ・指導員養成講習会 2 競技 (バレーボール、フェンシング 予定) ②公認スポーツ指導者研修会の開催 (日体協委託事業) 467 千円 (467 千円) ・スポーツ指導者研修会の開催 年 2 回 (4) スポーツ少年団の育成 (日体協助成事業等) 6,486 千円 (2,299 千円) ①県競技別交流大会開催事業 610 千円 各地区を代表するスポーツ少年団による県交流大会の開催	⑧ 4,103,078 円 1 名配置 (2) 1,688,920 円 期 日 : 平成 3 1 年 2 月 2 3 日 (土) 場 所 : 白兔会館 鳳凰の間 表彰内容 体育功労章 5 名 優良団体賞 2 団体 優秀指導者賞 7 名 特別賞 1 1 名 スポーツ賞 (個人) 5 0 名 (団体) 1 8 チーム 5 8 名 スポーツ敢闘賞 (個人) 4 5 名 (団体) 7 チーム 3 4 名 スポーツ奨励賞 (個人) 3 3 名 (団体) 5 チーム 3 4 名 (3) 1,636,947 円 ① 1,098,412 公認スポーツ指導者養成講習会の開催 ・バレーボール競技 参加申込者 10 名 (平成 30 年 9 月 1 日 (土)～9 月 17 日 (月) の 4 日間で実施) ・フェンシング競技 参加申込者 36 名 (平成 30 年 12 月 15 日 (土)～平成 31 年 1 月 20 日 (日) の 4 日間で実施) ② 538,535 公認スポーツ指導者研修会の開催 ・第 1 回 平成 30 年 9 月 2 日 (日) 夢みなとタワー (参加者数 108 名) ・第 2 回 平成 30 年 11 月 18 日 (日) とりぎん文化会館 (参加者数 117 名) (4) 5,447,790 円 ① 411,194 円 鳥取県スポーツ少年団競技別交流大会
---	--

・軟式野球大会

期 日 平成30年6月30日(土)

会 場 東伯運動公園 赤碕球場

・ミニバスケットボール大会

期 日 平成30年7月29日(日)

会 場 コカ・コーラウエストスポーツパーク県民体育館

・剣道大会

期 日 平成30年10月28日(日)

会 場 中部地区(会場未定)

・バレーボール大会

期 日 平成30年12月15日(土)

会 場 コカ・コーラウエストスポーツパーク県民体育館

②中国ブロック競技別交流大会開催事業 636 千円

各県を代表するスポーツ少年団による交流大会の開催

競 技 軟式野球

期 日 平成30年7月21日(土)～22日(日)

会 場 どらドラパーク米子市民球場、淀江運動公園 淀江球場

③中国大会派遣事業 198 千円

各県で開催される中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

④全国大会派遣事業 506 千円

全国で開催されるスポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年

・軟式野球交流大会

期 日:平成30年7月1日(日) (雨のため日程変更)

会 場:赤碕総合運動公園 野球場

参加団数:4 団

・ミニバスケットボール交流大会

台風の為中止

・剣道交流大会

期 日:平成30年10月28日(日)

会 場:琴浦町農業者トレーニングセンター

参加団数:8 団

・バレーボール交流大会

期 日:平成30年12月15日(土)

会 場:鳥取県民体育館

参加団数:男子6 団、女子6 団

② 558,804 円

中国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会

期 日:平成30年7月21日(土)～7月22日(日)

会 場:どらドラパーク米子市民球場、淀江運動公園 淀江球場

参加者数:64 名

③ 81,685 円

・中国ブロックスポーツ少年団バドミントン交流大会に派遣

期 日:平成30年8月24日(金)～25日(土)

会 場:山口県スポーツ交流村

参加団:車尾スポーツ少年団6 名(指導者含)

・中国ブロックスポーツ少年団卓球交流大会

期 日:平成30年10月20日(土)～21日(日)

会 場:(公財)岡山県体育協会玉野スポーツセンター

参加団:社スポーツ少年団卓球部4 名(指導者含)

④ 449,736 円

・第40回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会に派遣

団を派遣する。 ⑤中央講習会派遣事業 40 千円 将来の指導者の養成や認定員の資質向上を目的とした研修会等へ派遣 ・シニアリーダースクール ・認定育成員研修会 ⑥スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 490 千円 単位団運営において最低2名以上必要な、スポーツ少年団認定員資格及び日本体育協会公認スポーツリーダー資格を取得できる講習会の開催 期 日 平成30年11月24日(土)～25日(日) 会 場 鳥取県立倉吉体育文化会館 ⑦ジュニア・リーダースクール開催事業 124 千円 日本スポーツ少年団リーダー制度におけるジュニア・リーダー資格を取得できる講習会の開催 期 日 平成31年1月26日(土)～27日(日) 会 場 鳥取県立大山青年の家 ⑧地区別交流大会開催費 601 千円 本県東・中・西部地区の市町村で開催される交流大会費用を助成。	期 日：平成30年7月28日(土)～31日(火) 開催地：長崎県長崎市 参加団：三朝野球スポーツ少年団18名(指導者等含) ・第56回全国スポーツ少年大会に派遣 期 日：平成30年8月2日(木)～8月5日(日) 開催地：茨城県鹿嶋市 参加団：中ノ郷DBCスポーツ少年団5名(指導者含) ・第41回全国スポーツ少年団剣道交流大会に派遣 期 日：平成31年3月27日(水)～3月29日(金) 開催地：山口県山口市 参加団：団体戦・大山町剣道スポーツ少年団6名(指導者含)及び個人戦・中学生団員2名。 ⑤ 2,592 円 ・シニアリーダースクール 参加者なし ・平成30年度スポーツ少年団認定育成員研修会(参加料) 期 日：平成30年10月20日(土) 会 場：香川県高松センタービル 派遣者：1名 ⑥ 335,040 円 スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会 期 日：平成30年11月24日(土)～11月25日(日) 会 場：鳥取県立倉吉体育文化会館 受講者：63名 ⑦ 127,213 円 ジュニア・リーダースクール 期 日：平成31年1月26日(土)～1月27日(日) 会 場：鳥取県立大山青年の家 参加者：団員24名、指導者16名 合計40名参加 ⑧ 542,982 円 3団体へ助成実施。
---	--

⑨地区別指導者研修費 391 千円 本県東・中・西部地区の市町村で開催される指導者研修費用を助成。 ⑩中国ブロック会議開催費 632 千円 スポーツ少年団登録指導者の中国ブロック内における相互の連帯と資質・指導力の向上を図るため会議を開催する。 ⑪体力テスト実施助成事業 202 千円 市町村で開催される体力テストにかかる費用を補助。 ⑫スポーツ少年団本部運営費 2,056 千円 (5) スポーツ安全保険業務 4,571 千円 (4,501 千円) 公益財団法人スポーツ安全協会と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。	(東部地区スポーツ少年団協議会、中部スポーツ少年団本部、西部地区スポーツ少年団実行委員会) ⑨ 316,266 円 3 団体へ助成実施。 (東部地区スポーツ少年団協議会、中部スポーツ少年団本部、西部地区スポーツ少年団指導者協議会) ⑩ 479,367 円 中国ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会 期 日：平成 30 年 11 月 15 日(木)～11 月 16 日(金) 会 場：ANA クラウンプラザホテル米子 参加者：15 名 ⑪ 202,100 円 平成 30 年度スポーツ少年団運動適正テスト ・実施総勢 554 名 ⑫ 1,940,811 円 ・委員総会 第 1 回委員総会 平成 30 年 6 月 18 日(月)・鳥取県立倉吉体育文化会館 第 2 回委員総会 平成 31 年 3 月 28 日(木)・鳥取県立倉吉体育文化会館 ・平成 30 年度スポーツ少年団登録数 指導者登録数：718 名 団員登録数：3,019 名 市区町村役職員登録数：67 名 都道府県役職員登録数：5 名 (5) スポーツ安全保険業務 4,571,000 円 第 4 1 回スポーツ安全協会中国・四国ブロック支部会議 期 日：平成 3 0 年 1 0 月 2 9 日(月)～3 0 日(火) 場 所：岡山県岡山市 ホテルグランヴィア岡山 協定期間：平成 3 0 年 4 月 1 日～平成 3 1 年 3 月 3 1 日
---	---

(6) 施設基金実施事業 11,006 千円 (5,936 千円) ①因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業 585 千円 (341 千円) 兵庫県但馬地区と鳥取県因幡地区の小学生・中学生による陸上競技の交流を目的とした対抗選手権大会の開催経費補助。 ② (新) バドミントン教室 1,174 千円 (0 千円) 布勢総合運動公園において、日本を代表する現役選手等を講師として、小学生を対象としたバドミントン教室を開催する。 ③ガイナレ鳥取支援事業 301 千円 (301 千円) ガイナレ鳥取に対し、県体協としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。 ④布勢スプリント開催事業 601 千円 (601 千円) 布勢総合運動公園において開催される「布勢リレーカーニバル兼スプリント挑戦記録会 I N T O T T O R I」に各種目のトップアスリートを招待することにより、子どもたちに夢や感動を提供することに寄与する。 ・招待選手：調整中 ⑤鳥取県体育協会創立 1 0 0 年記念事業 7,861 千円 (2,000 千円) ・記念式典事業 5,861 千円 (0 千円) 記念式典、記念講演、写真コンクール、作文・絵画コンクール等実施。 ・鳥取県体育協会史編集事業 2,000 千円 (2,000 千円) 鳥取県体育協会の歴史を後世に残していくため、鳥取県体育協会史の発刊を行う。	(6) 8,763,335 円 ① 186,073 円 日 時：平成 3 0 年 8 月 1 1 日 (土) 会 場：コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク陸上競技場 参加者：選手 2 2 2 名 (因幡 1 1 1 名、但馬 1 1 1 名) ② 982,062 円 日 時：平成 3 0 年 6 月 5 日 (火) 会 場：コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク県民体育館メインアリーナ 参加者：1 9 9 名 (1 部 9 3 名、2 部 1 0 6 名) ③ 300,108 円 クラブスポンサーとして支援 ④ 600,108 円 日 時：平成 3 0 年 6 月 3 日 (日) 会 場：コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク陸上競技場 主な招待選手 ■男子 100m 多田修平、飯塚翔太、ケンブリッジ飛鳥 ■男子 110mH 増野元太、大室秀樹、高山峻野 ■女子 100m 市川華菜、前山美優、世古和、中村水月 ■女子 110mH 柴村仁美、木村文子、青木益未 参加者：7 1 5 名 ⑤ 6,320,032 円 ・鳥取県体育協会設立 1 0 0 周年記念式典 4,610,311 円 期 日：平成 3 0 年 1 2 月 2 4 日 (月・振休) 場 所：とりぎん文化会館 梨花ホール 内 容：特別功労者表彰、写真・作文・絵画コンクール入賞者表彰、お家芸披露 (空手形、新体操)、記念講演 (舞の海秀平氏) 入場者数：5 5 0 名 ・鳥取県体育協会史編集 1,709,701 円 各競技団体等から提出のあった原稿の校正
---	---

発刊：平成３１年度を予定 ⑥備品整備事業　　283 千円（281 千円） 県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備を行う。 ・ 公用車（軽自動車）の維持・修繕等 ⑦2020 東京オリパラ・世界選手合宿誘致事業　　201 千円（251 千円） 東京オリ・パラキャンプ誘致に係る開催市町村への負担 （７）布勢必備器具等賃借事業　1,639 千円（0 千円） 布勢スプリント開催に必要な器具の賃借等を行う。	⑥　174,864 円 公用車の法定点検等整備 ⑦　200,108 円 境港市東京オリ・パラリンピック実施委員会に対し、総額の１／６を負担 ・ クロアチア・セーリングチームの合宿受入 （７）1,637,464 円 平成３０年６月３日（日）開催の布勢スプリントにおいて必要な器具の賃借等を実施。 賃貸借物件等：・ 写真判定装置 ・ 報道用仮設ハウス ・ 仮設ハウス電源工事
--	---

指定管理施設 運営状況一覧

平成31年3月31日現在

	公益事業 + 収益事業					収益事業	合計
	鳥取県立 布勢総合運動公園	鳥取県立 鳥取産業体育館 鳥取県営 鳥取屋内プール	米子市 皆生市民プール	鳥取県立 米子産業体育館	鳥取県立武道館	鳥取県立 倉吉体育文化会館	
利用人数	1,122,000人	82,500人	87,000人	150,000人	110,000人	186,000人	1,804,500人
(計画)	(1,139,000人)	(82,000人) (67,000人)	(86,000人)	(148,000人)	(110,000人)	(172,000人)	(1,804,000人)
利用人数	1,068,202人	84,957人 69,916人	94,394人	134,463人	103,963人	200,090人	1,755,985人
(実績)	(1,098,968人)	(98,656人) (70,925人)	(86,361人)	(136,143人)	(105,807人)	(157,668人)	(1,754,528人)
利用収入等金額	66,742,000円	34,870,000円	23,385,000円	32,311,000円	12,474,000円	21,574,000円	191,356,000円
(計画)	(66,712,000円)	(34,570,000円)	(22,865,000円)	(31,810,000円)	(12,474,000円)	(19,110,000円)	(187,541,000円)
利用収入等金額	75,580,289円	31,891,479円	20,396,203円	30,028,645円	12,409,283円	26,044,731円	196,350,630円
(実績)	(83,582,129円)	(35,043,940円)	(18,969,900円)	(30,225,901円)	(12,135,722円)	(19,025,794円)	(198,983,386円)
県委託料	273,806,000円	64,122,848円	—	30,775,264円	64,552,000円	47,170,160円	480,426,272円
(予算)	(274,390,181円)	(63,418,848円)	—	(30,055,264円)	(64,202,000円)	(45,056,224円)	(477,122,517円)
県委託料	263,026,254円	64,122,848円	—	31,954,618円	63,622,122円	47,170,160円	469,896,002円
(実績)	(262,783,567円)	(63,418,848円)	—	(30,055,264円)	(62,575,841円)	(45,056,224円)	(463,889,744円)
米子市委託料	—	—	45,083,000円	—	—	—	45,083,000円
(予算)	—	—	(45,413,000円)	—	—	—	(45,413,000円)
米子市委託料	—	—	45,083,000円	—	—	—	45,083,000円
(実績)	—	—	(45,413,000円)	—	—	—	(45,413,000円)
スポーツ（文化）教室	【スポーツ教室】 卓球教室他32教室	【体育館】 バドミントン教室 他14教室 【プール】 幼児教室他18教室	【スポーツ教室】 バドミントン教室 他6教室 【水泳教室】 4教室(30クラス)	【スポーツ教室】 体操教室他15教室 【文化教室】 英語教室 【短期教室】 バドミントン教室	柔道教室 剣道教室 弓道教室 ゆったり運動教室 他7教室	【スポーツ教室】 テニス教室他14教室 【文化教室】 グラスシルエット教室他7 教室	
イベント	【スポーツ】 園長杯争奪G.G大会19種 【自然体験】 カブトムシ観察ウォーク他1種 【地域交流】 緑の感謝祭他4種 【体験学習】 自然遊びプログラム他3種	・着衣泳講習会 ・バドミントン大会 ・花ショウブ展示会 他7イベント	・浮いて待て講習会 ・第2回とっとりけん玉道 選手権大会 他2イベント	・館長杯バウンドテニス大 会 ・館長杯バドミントン大会 ・新体操教室発表会	・武道合同体験会 ・高校生弓道大会 ・小学生剣道大会 ・武道館鏡開き式 他7イベント	・体文祭 ・テニスカップ ・夏休み文化教室 ・クリスマスイベント 他6イベント	

※カッコ内はH30年度

事業計画	実施状況																																																																																																														
3 体育施設管理・運営 640,906 千円 (638,226 千円) 鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。 (1) 鳥取県立布勢総合運動公園 平成30年度施設利用見込み人数 1, 122, 000人 (平成29年度施設利用見込み人数) (1, 139, 000人) 平成30年度収入見込額 66, 742, 000円 (平成29年度収入見込額) (66, 712, 000円)	3 637, 197, 873 円 (1) 平成30年度施設利用者数 1, 068, 202人 (平成29年度実績) (1, 098, 968人) 平成30年度収入額 75, 580, 289円 (平成29年度実績) (83, 582, 129円) ■スポーツ教室 <table><tr><th>教室名</th><th>期間</th><th>延べ回数</th><th>延べ人数</th><th>備考</th></tr><tr><td>卓球初級</td><td>4月～2月</td><td>30</td><td>854</td><td></td></tr><tr><td>卓球Ⅰ</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>1044</td><td></td></tr><tr><td>卓球Ⅱ</td><td>4月～2月</td><td>30</td><td>521</td><td></td></tr><tr><td>トータルバランスヨガ午前</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>851</td><td></td></tr><tr><td>シェイプアップエアロ</td><td>4月～1月</td><td>30</td><td>273</td><td></td></tr><tr><td>ノルディックウォーク</td><td>4月～11月</td><td>20</td><td>161</td><td></td></tr><tr><td>エアロビクス&ストレッチ</td><td>4月～2月</td><td>20</td><td>520</td><td></td></tr><tr><td>健康トレーニング</td><td>4月～2月</td><td>20</td><td>166</td><td></td></tr><tr><td>ニュースポーツ</td><td>4月～3月</td><td>29</td><td>242</td><td></td></tr><tr><td>ママのボディリメイク with ベビー</td><td>4月～3月</td><td>20</td><td>126</td><td></td></tr><tr><td>トータルバランスヨガ午後</td><td>4月～2月</td><td>30</td><td>746</td><td></td></tr><tr><td>バドミントン</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>289</td><td></td></tr><tr><td>野球Ⅱ</td><td>4月～1月</td><td>31</td><td>482</td><td></td></tr><tr><td>エンジョイ・キッズ</td><td>4月～3月</td><td>29</td><td>352</td><td></td></tr><tr><td>陸上Ⅰ</td><td>4月～11月</td><td>37</td><td>697</td><td></td></tr><tr><td>野球Ⅰ</td><td>4月～12月</td><td>29</td><td>500</td><td></td></tr><tr><td>チアバトンダンス</td><td>4月～12月</td><td>30</td><td>645</td><td></td></tr><tr><td>トランポ・ロビックス</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>375</td><td></td></tr><tr><td>陸上Ⅱ</td><td>4月～11月</td><td>29</td><td>712</td><td></td></tr><tr><td>サッカーⅠ</td><td>4月～2月</td><td>29</td><td>271</td><td></td></tr><tr><td>サッカーⅡ</td><td>4月～2月</td><td>30</td><td>303</td><td></td></tr></table>	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考	卓球初級	4月～2月	30	854		卓球Ⅰ	4月～3月	30	1044		卓球Ⅱ	4月～2月	30	521		トータルバランスヨガ午前	4月～3月	30	851		シェイプアップエアロ	4月～1月	30	273		ノルディックウォーク	4月～11月	20	161		エアロビクス&ストレッチ	4月～2月	20	520		健康トレーニング	4月～2月	20	166		ニュースポーツ	4月～3月	29	242		ママのボディリメイク with ベビー	4月～3月	20	126		トータルバランスヨガ午後	4月～2月	30	746		バドミントン	4月～3月	30	289		野球Ⅱ	4月～1月	31	482		エンジョイ・キッズ	4月～3月	29	352		陸上Ⅰ	4月～11月	37	697		野球Ⅰ	4月～12月	29	500		チアバトンダンス	4月～12月	30	645		トランポ・ロビックス	4月～3月	30	375		陸上Ⅱ	4月～11月	29	712		サッカーⅠ	4月～2月	29	271		サッカーⅡ	4月～2月	30	303	
教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考																																																																																																											
卓球初級	4月～2月	30	854																																																																																																												
卓球Ⅰ	4月～3月	30	1044																																																																																																												
卓球Ⅱ	4月～2月	30	521																																																																																																												
トータルバランスヨガ午前	4月～3月	30	851																																																																																																												
シェイプアップエアロ	4月～1月	30	273																																																																																																												
ノルディックウォーク	4月～11月	20	161																																																																																																												
エアロビクス&ストレッチ	4月～2月	20	520																																																																																																												
健康トレーニング	4月～2月	20	166																																																																																																												
ニュースポーツ	4月～3月	29	242																																																																																																												
ママのボディリメイク with ベビー	4月～3月	20	126																																																																																																												
トータルバランスヨガ午後	4月～2月	30	746																																																																																																												
バドミントン	4月～3月	30	289																																																																																																												
野球Ⅱ	4月～1月	31	482																																																																																																												
エンジョイ・キッズ	4月～3月	29	352																																																																																																												
陸上Ⅰ	4月～11月	37	697																																																																																																												
野球Ⅰ	4月～12月	29	500																																																																																																												
チアバトンダンス	4月～12月	30	645																																																																																																												
トランポ・ロビックス	4月～3月	30	375																																																																																																												
陸上Ⅱ	4月～11月	29	712																																																																																																												
サッカーⅠ	4月～2月	29	271																																																																																																												
サッカーⅡ	4月～2月	30	303																																																																																																												

バドミントンジュニア	4月～1月	30	649	
陸上上級	4月～2月	84	2, 459	
ピラティス	4月～3月	30	561	
癒しのヒーリングヨガ	4月～1月	30	636	
フラダンス	4月～3月	30	228	
ジョギング	4月～12月	25	247	
障がい者トランポリン	8月～2月	7	35	
障がい者スポーツ	5月～3月	10	36	
ファンクショナルトレーニング午前	4月～2月	59	116	
ファンクショナルトレーニング午後	4月～2月	60	241	
テニス	4月～3月	183	6, 916	
冬季短期陸上	1月～2月	14	142	
ランニングクリニック	12月～2月	12	159	

■イベント

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	園長杯争奪G G大会	5	1, 885	
	布勢G G大会・男女別個人戦	2	586	
	フレッシュ・グラスG G大会	1	310	
	サマーショートコースG G大会	1	275	
	サマーG G・ミックスペア大会	1	198	
	布勢G Gショートコースラウンド	2	254	
	さよならG G大会 in 布勢	1	304	
	新春布勢G G大会	1	260	
	布勢初花G G大会	1	315	
	布勢サッカー大会	2	993	
	布勢ナイターサッカー大会	1	372	
	布勢ピンポン大会	3	167	
	布勢ミックスダブル卓球大会	1	278	
	布勢親子ダブルス卓球大会	1	104	
	ナイター陸上大会	1	104	
	クライミング体験教室 in 布勢	2	22	
	コーディネーションントレーニ	2	107	

	ング&スプリント講座			
	布勢剣道錬成大会	1	1 8 6	
	奥原希望バドミントン教室	1	6 7 4	
	因幡・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会	1	5 0 0	
地域交流	緑の感謝祭	1	5, 5 0 0	
	布勢フリーマーケット	2	6 5	
	布勢こども祭り（春）	1	2, 7 0 0	3日間
	布勢こども祭り（秋）	1	1, 3 0 0	3日間
	ミニ遊園地	2 3	2, 3 7 2	
自然体験	カブトムシ観察ウォーク	1	3 9	
	キノコ狩り	1	8	
体験学習	自然遊びプログラム	—	—	申込者なし
	福祉プログラム	2	1 5	
	園芸プログラム	1	2 6	
	環境教育プログラム	2	—	

■利用者数及び収入増減理由

<利用者数>

利用者数における前年対比は、全体として97.2％となっており、約3万人の減である。大きな要因としては、桜が昨年度より10日ほど早く散ってしまったことや、補助競技場・跳躍場・野球場が工事により使用できなかった4月の3万人減や、6月の「食のみやこフェスティバル」のような大規模なイベントの開催が昨年度に比べ少なかったことでの2万5千人減などが考えられる。

<収入>

収入における前年対比は、全体として90.4％であり、約8百万円の減である。大きな要因としては、8月の大幅な収入減となる、中学校体育連盟による全国大会（サッカー・バスケットボール）の開催をはじめとした減免対象となる大会が多数開催されたことや、10月の収入減となる、昨年度同時期に開催された「秋巡業大相撲鳥取場所」のような大規模なイベントの開催がなかったことが考えられ、合わせて約5百万円の減となっている。

また、前年比100％を上回る月が3月で、合計約40万円程度の増だが、その他の月全てが減収であるため、約3百万円の減となっている。

■事業実施状況

＜公平な利用の確保＞

- ・とっとり施設予約サービスを活用していただけるよう、インターネットでの利用申込登録を推進した。
- ・大会等のスムーズな運営と、確実な準備を進めるため、中国大会規模以上の大規模利用調整会（８月）及び県大会・地域の大会・イベント等の利用調整会を実施した。
- ・利用許可に係る申込手続きや料金の徴収について、各種利用券を発行するなどして手続きの簡略化を図った。

＜施設管理＞

- ・職員による日常点検及び専門業者による定期点検を行い、異常個所の早期発見、早期対応により適切に修繕等実施した。
- ・公園巡視マニュアルに基づき、１日２回の巡視を行い、利用者の安全・安心を確保するとともに、異常個所等の早期対応に努めた。
- ・年末年始の休園日にもランニングやウォーキング等で利用される方が多いため、職員を割り振り、第１駐車場を開放することで利便性の向上に努めた。
- ・夜間の園内巡回警備を外部委託し、安全・安心な施設づくりに努めた。

＜スポーツ活動の振興等（自主事業含む）＞

- ・国体選手強化のための支援・協力として、競技団体からの要望により、大会の監督、コーチ、選手等で職員を派遣した。
- ・運動部活動推進事業への協力として、学校部活動に外部指導者として職員を派遣した。
- ・全国規模のスポーツイベントの開催に対応した。

■主な全国規模大会等

２０１８布勢スプリント

第３９回全日本マスターズ陸上競技選手権大会

ワールドカデットチャレンジ大会

なでしこジャパン戦練習会場

宝くじスポーツフェアドリームベースボール

鳥取マラソン２０１９

第４５回全日本クラブバスケットボール選手権大会

第３４回全国高等学校新体操選抜大会

- ・主催のスポーツ教室は、全３３教室を開催し、延べ２２，５５５名の参加があ

った。中でも、テニス、卓球、陸上、、ヨガなどが非常に人気の高い教室となっている。

- ・主催のイベントは、スポーツ型、地域交流型、自然体験型、体験学習型と4区分で実施し、全体では19,919名の参加があった。恒例のグラウンドゴルフイベント関係では、延べ15回の大会を開催し、4,387名の参加を得た。また、その他イベントでは、例年人気の高いカブトムシ観察ウォークやキノコ狩り&観察会や、クリスマス寄せ植え教室など選べる4つの学習体験プログラムを提供し、利用促進に努めた。

また、世界選手権金メダリスト奥原希望選手を招いてのバドミントン教室を開催し、小学生から高校生まで延べ200名の参加があった。子どもたちがトップアスリートに触れることにより夢や感動を与えられる機会を提供した。

<利用者サービス>

- ・人気の高い無料卓球台の設置を継続し、普段利用されることが少ない2階ロビー奥のスペースの有効活用を図った。約922件、延べ2,207名が利用されており、年間開館347日で1日あたり平均2.8件、6.3人の利用があった。
- ・油野名誉会長の企画で鳥取県にゆかりのある力士及びオリンピック選手の記念品等を展示し、1階ロビーの有効活用を図った。
- ・高齢者及び障がい者等の減免対象者に登録制の減免資格証を発行するとともに、利用頻度の高い施設専用利用者に対して施設利用登録券を発行し、申し込み手続きの簡略化を図った。
- ・耳の不自由な方への「耳マーク」、目の不自由な方及び内臓疾患患者への「ハートプラスマーク」の設置、車いすの常設、福祉関係のイベントの実施など、障がい者等に配慮した公園づくりに努めた。
- ・鳥取県民の日の無料開放と合わせ、5月のみどりの日を中心とした3日間、10月の都市緑化月間とした第3週の月曜日から金曜日の5日間を無料開放し、利用者の来園促進を図った。
- ・桜の時期には、夜間でも花見ができるようボンボリを設置し利便性の向上を図った。

<経費の節減等>

- ・園内街灯及び各施設のLED化を促進するとともに、陸上競技場内通路蛍光灯をセンサー式に取り換えるなど経費節減に努めた。

<環境に配慮した管理運営>

- ・ペットボトルのキャップやプルタブを回収し、リサイクル活動を実施するとともに、回収した資源の活用（車いすの購入等）に取り組んだ。

- ・園内で発生する枯葉、剪定屑、芝屑などを堆肥とし、主催イベントで来園者に無料配布するなどして再利用に努めた。

<広報活動>

- ・ホームページをリニューアルし、フェイスブックを取り入れるなど情報発信の方法を充実させた。

<行政等との連携>

- ・ネーミングライツについて、コカ・コーラボトラーズジャパンの愛称定着のため周知を図り、園内の自動販売機を全てネーミングライツ企業の販売機を設置するなど協力した。
- ・JOC支援事業による東京オリ・パラに向けた支援金付自動販売機を設置した。
- ・7月に発生した記録的大雨による災害時には、緊急避難場所として協力するとともに、避難者の受付・誘導、物資の運搬等に職員が協力した。

<地域等との連携>

- ・職場体験実習及びインターンシップの受け入れを行った。

■職場体験実習

鳥取市立湖南学園
鳥取市立湖東中学校
鳥取市立高草中学校

■インターンシップ

鹿屋体育大学

<その他>

- ・障がい者2名を雇用し障がい者の就労機会の確保に努めた。

■今後の取り組み等

- ・特に県民体育館における窓口受付をスムーズにするため、職員の配置や受付業務を見直すとともに券売機等の導入を検討する。
- ・災害等が起こった場合に対応できるよう、災害用自動販売機の導入を検討する。
- ・比較的稼働率の低い各研修室の利用促進を図る。
- ・ネーミングライツ企業の冠付きイベント等を計画する。
- ・地元大学と連携した学習プログラム等を検討する。
- ・スポーツ教室、各種イベント等、新規プログラムを設置する。
- ・職員の資質向上のため各種研修会を開催する。
また、人権研修については、他団体が開催する研修会に積極的に参加する。
- ・ボランティア団体と連携を密にし、イベントの開催や一層の園内緑化を目指す。

(2) 鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プール

平成30年度施設利用見込み人数	体育館	82,500人
	プール	67,000人
	計	149,500人
(平成29年度施設利用見込み人数)		(149,000人)
平成30年度収入見込額		34,870千円
(平成29年度収入見込み額)		(34,570千円)

- ・スポーツの拠点施設の相応したメジャーな大会の誘致を行うとともに、スポーツ以外のイベント（コンサート等）の誘致についても積極的に検討する。
- ・2020東京オリ・パラに係る国内外のキャンプ地誘致等に伴う県や各団体との取り組みに協力する。
- ・公園設置から約30年経過し経年劣化が進んでいる施設の維持管理のため、県への情報提供を含め、独自の修繕を行うなど、細かな対応に努めていく。
- ・高齢者や障がい者の方でも利用しやすい公園、施設をめざし、鳥取県や関係団体と連携したハード面での整備、ソフト面の充実に協力する。

(2)

平成30年度施設利用者数	体育館	84,957人
	プール	69,916人
	計	154,873人
((平成29年度実績)		(169,581人)
平成30年度収入額		31,861,479円
(平成29年度実績)		(35,043,940円)

■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
バドミントン（月曜日）	5月～3月	30	154	
卓球（月曜日）	5月～3月	30	90	
産体フィットネス（火曜日）	5月～3月	30	82	
ジュニア空手（火曜日）	5月～3月	30	89	
テニス（火曜日）	5月～3月	30	209	
テニス（水曜日）	5月～3月	30	160	
卓球（水曜日）	5月～3月	30	177	
ジュニアバドミントン（水曜日）	5月～3月	30	178	
ジュニア新体操（木曜日）	5月～3月	30	138	
いきいき健康（木曜日）	5月～3月	30	45	
エアロビクス（金曜日）	5月～3月	30	148	
テニス（金曜日）	5月～3月	30	96	
バドミントン（金曜日）	5月～3月	30	137	
障がい者スポーツ教室	5月～3月	30	57	
ワンコインレッスン	4月～3月	11	44	

■水泳教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
幼児（月曜日）	5月～3月	30	378	
幼児（木曜日）	5月～3月	30	428	
幼児（土曜日）	5月～3月	30	520	
小学生（月曜日）	5月～3月	30	701	
小学生（火曜日）	5月～3月	30	634	
小学生（木曜日）	5月～3月	30	675	
小学生（金曜日）	5月～3月	30	716	
小学生（土曜日）	5月～3月	30	699	
小中学生（土曜日）	5月～3月	30	664	
一般（月曜日）	5月～3月	30	362	
一般（木曜日）	5月～3月	30	235	
一般（金曜午前）	5月～3月	30	169	
一般（金曜午後）	5月～3月	30	133	
春季小学生	4月	10	168	
夏休み小学生Ⅰ	7月～8月	5	266	
夏休み小学生Ⅱ	8月	5	249	
水球教室	4月～3月	32	535	
障がい者水泳教室	5月～3月	25	123	
ワンコインレッスン	4月～3月	21	30	

■イベント

区分	イベント名	延べ 日数	延べ 人数	備考
文化	花ショウブ特別展示会	2	420	6月21・22日
スポーツ	着衣泳講習会	1	7	7月21日
スポーツ	井上派練流慶心会井上杯 大会	1	400	7月29日
スポーツ	こども運動神経育成教室	1	44	9月22日
スポーツ	館長杯秋季バドミントン 大会	1	9	11月27日
スポーツ	第10回ローソンカップ	1	174	12月24日

	小学生さわやか卓球大会			
スポーツ	新春初泳ぎ	1	9	1月4日
スポーツ	室内グラウンドゴルフ大会	1	67	1月24日
スポーツ	泳力検定	1	11	3月10日
その他	室内フリーマーケット	3	715	4月21日 9月15日 3月23日

■利用人数及び収入増減理由

<体育館>

利用者数：前年度は、6月に「ジャパンキルトフェスティバル in すなば県」（集客数13,000人）・9月に「絵本とわたしの物語展」（集客数5,700人）など大規模なイベント利用があったものの、今年度は同規模の利用がなかった為、前年度比86.0%の減となった。

収入：7月の豪雨の影響による大会4件、展示会1件のキャンセル、中体連の県大会での全減免利用及び前年利用のあった「絵本とわたしの物語展」等の大規模利用もなかったことが影響し、前年度比86.7%の収入減となった。

<プール>

利用者数：7月に豪雨の影響でプールに雨水が入り込み4日間の臨時閉館を行ったこと、9月に台風が相次いで発生したこともあり、その影響で利用者数が減となった。その他の月についてはほぼ前年度並みの利用者数であった。

収入：豪雨や台風の影響で利用者数が少ない時期もあり、収入にも影響が出ると思われたが、小・中学生の個人利用による収入が僅かに増え、前年度比95.0%の減に留まった。

■事業実施状況

- ・「室内フリーマーケット」を4月に開催したが、定期的を開催してほしいとの利用者のご意見もあり、9月に2回目、3月にも3回目を開催した。
- ・文化的事業として「花ショウブ特別展示会」（6月）を継続実施した。継続開催

もあって、多くの愛好者や興味をもった方で賑わった。

- ・「着衣泳講習会」（7月）を開催した。水に関わることの多いシーズンを前に参加者は少なかったがとても有意義な講習会開催であった。
- ・共催イベントとして、「井上派糸東流慶心会井上杯大会」（7月）を開催した。国内外から400人の選手が来館された。海外の方もたくさん来館されたので、グローバルで活気のある大会となった。
- ・「こども運動神経育成教室」（9月）を昨年に引き続き開催した。神経系の運動能力を高め、運動神経を鍛えるコーディネーショントレーニングを中心にプログラムを組んだ。
- ・6月に一部砂利だった中庭に芝を植え、全面芝生化した。現在、教室後の子ども達の運動できる遊び場として好評をいただいております、また教室を待つ保護者の方の憩いの場として有効活用していただいた。
- ・施設を安全に使っていただくために、心肺蘇生法及び AED 取り扱い講習を月に2回以上実施。万一水難等があった場合、迅速に行動できる体制づくりをおこなった。
- ・幼児から高齢者、障がい者まで、幅広い層で楽しんでもいただける、水泳、スポーツ教室を開催。生涯スポーツの普及、振興や競技力向上に取り組んだ。

■地域貢献等

- ・面影小学校の全校遠足の途中休憩所としてロビー・トイレを提供した。
- ・鳥取南中学校の2年生3名、鳥取西中学校の2年生1名を職場体験の受け入れを行った。
- ・県立岩美高校の2年生4名のインターンシップ受け入れを行った。
- ・散岐小学校のプール開きに職員を派遣し、講演と模範泳法を披露し生徒に水泳の魅力を伝授した。
- ・鳥取市内の各小学校（散岐小学校、神戸小学校、国府東小学校、美保南小学校）へ出向き、教師及び生徒に水泳出前指導を行い泳力向上に貢献した。
- ・米里地区公民館へ職員を派遣し、ニュースポーツ（キンボール）の出前指導を行い、地域の方に大変喜んでいただいた。
- ・河原第一小学校4年生親子会へ職員を派遣し、ニュースポーツ（バウンスボール）の出前指導を行ない、スポーツを通じて親子交流を推進した。
- ・賀露小学校へ職員を派遣し、「PTC ドッジボール対戦」の運営補助及び出前指導を行い、スポーツを通じて親子交流を推進した。
- ・鳥取第1幼稚園のクリスマスイベントにサンタクロースとして協力。園児に大変喜んでいただいた。

(3) 米子市皆生市民プール

平成30年度施設利用見込み人数	86,000人
(平成29年度施設利用見込み人数)	(86,000人)
平成30年度収入見込額	23,385千円
(平成29年度収入見込額)	(22,865千円)

■今後の取り組み等

- ・収入確保のためにイベント開催に協力していき、様々な団体に来ていただけるように努めるとともに、展示会開催を呼び込むために声掛けを継続していく。
- ・支出（特に燃料費と電気代）を抑えるよう職員全員が節減意識をこれまでよりさらに強く努力する。
- ・前年度に引き続き今年度も、各種ポンプ及びボイラの修繕を行った。また今年度は豪雨・台風による修繕も複数発生した。施設の老朽化による小修繕及び自然災害での修繕がかなり増えてきている。日頃の巡視・点検を徹底し、大きな修繕にならないように努める。
- ・2020年東京オリパラに向け、競技団体と連携を図り、海外からの合宿要望等にこたえられる施設に整え、トップアスリート事業の開催に取り組んでいきたい。
- ・利用者が安心・安全・快適に施設を利用していただくことが基本と考え、施設アンケート・教室アンケートを行う機会を増やし、利用者の声を聴き、迅速な対応ができる管理運営に努める。
- ・収入を図るため、追加イベントを計画し実施する。
- ・教室の参加者増を図るため、広報に力を入れる。
- ・職員のスキルアップのための研修会を開催する。また、他団体が実施する各種研修会に積極的に参加する。

(3)

平成30年度施設利用者数	94,394人
(平成29年度実績)	(86,361人)
平成30年度収入額	20,396,203円
(平成29年度実績)	(18,969,900円)

■スポーツ教室

教室名	実施教室数 (クラス)	延べ回数	延べ人数	備考
バドミントン教室(初級)	4期(1)	40	173	
バドミントン教室(中級)	4期(1)	40	350	

バドミントン教室（上級）	4期（1）	40	240	
Jr.バドミントン教室	4期（2）	80	1,310	
3B体操教室	4期（1）	40	150	
わんぱく教室	4期（1）	30	551	
トライアスロン教室	4期（3）	120	2,070	

■水泳教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
水泳教室（幼児）	3期（11）	110	4,408	
水泳教室（小中学生）	3期（21）	210	8,838	
水泳教室（成人）	3期（3）	30	838	
水泳教室（短期）	4月、12月	17	103	

■イベント

イベント名	時期	人数(延)
浮いて待て講習会	7月	5名
水辺の安全教室	8月	16名
とっとりけん玉道選手権	11月	11名
水中リズム体験会	3月	22名
プチ・レッスン	月・木	776名

■利用者数及び収入増減理由

<利用者数>

夏季が猛暑となりプールの一般利用者（小中、一般）が増加、また施設近隣にある認定こども園による通年でのコース専用利用が大きな要因となり、計画および前年度対比とも増となった。

<収入>

計画としては減であるが、前年度対比では1,400千円の増加となった。理

由として、先述した個人利用、専用利用の増加及び昨年度は9月に3週間の休館となったが、本年は年間を通じて営業できたことが挙げられる。

■事業実施状況

- ・水泳教室は、例年通り実施することができた。また、申込者数の増加に伴い、追加の教室を開催し、ほぼ全員の申込者が参加できるクラス編成を行い、好評を頂いた。特に幼児（2歳から3歳児対象、年少から年長）クラスは、申込者多数であった。
- ・共同企業体である（一財）鳥取県水泳連盟と合同の救命救急講習並びに救助訓練を行い、監視体制、救助体制の確認を行った。（5月30日）
- ・米子市内の小中学校及びPTAに地域貢献活動の一環としてのBLS（心肺蘇生法及びAED）講習会及び浮いて待て（着衣泳）講習会をNPO法人皆生ライフセービングクラブとの共同実施により、8校約700名に実施した。
- ・鳥取県障がい者スポーツ協会との共催で、西部スポーツ教室を実施するとともに、第6回鳥取県障がい者水泳選手権大会の会場提供及び職員の役員配置、第12回全日本チャレンジド・アクアスロン皆生大会への職員派遣を行うなど、障がい者の方のスポーツ活動の支援を行った。
- ・福米中学校（9月25日から27日2名）の職場体験の受け入れを行った。実際にプール監視、窓口業務、環境美化活動等体験し、普段利用しているだけではわからない施設管理の一面を理解したと思う。インターンシップを利用して、明治大生を受け入れ、バドミントン教室指導を体験する機会を設けた。
- ・「浮いて待て講習会」を7月14日（土）に実施し、実際に海や河川での事故に対し自己保全としての浮くことを体験した。
- ・小学生を対象に水辺で安全に楽しく過ごすにはどうしたら良いか学習させる「水辺の安全教室」を皆生温泉海水浴場にて8月に実施。
- ・環境美化の一環として敷地内にある遊休箇所を花壇に整備し、季節の花を植えた。花があると気持ちが和むと利用者に好評であった。
- ・新規イベントとして、11月にとっとりけん玉道選手権を開催し、県内外からの参加者があり、白熱した大会となった。
- ・高齢者を対象とした、水中で音楽に合わせて様々な動きをする、水中リズム運動体験会を開催。普段の運動とは違った爽快感を提供できた。
- ・5月から6月及び10月、11月にかけて、毎週月・木曜日の10時10分から約20分間、プチ・レッスンとして主に水中運動を行い、多くの利用者から好評をいただいた。（総勢776名）
- ・水泳の飛び込み指導に関して、鳥取県小中学校の教員対象にした飛び込み教室に職員を指導員として派遣し（県内3か所）、多くの教職員に指導を行った。

(4) 鳥取県立米子産業体育館

平成30年度施設利用見込み人数	150,000人
(平成29年度施設利用見込み人数)	(148,000人)
平成30年度収入見込額	32,311千円
(平成29年度収入見込額)	(31,810千円)

- ・米子市小学校体育主事の教員を対象に、浮いて待て講習会・頸椎損傷・熱中症などの講習会に職員を派遣した。

■今後の取り組み等

- ・米子市のスポーツ振興、健康増進に照らした事業展開と安心安全な施設の提供ができるよう、利用者の声、社会変化のニーズや課題を積極的に探り、柔軟な発想で施設運営に反映していく。
- ・各種スポーツ教室等の自主事業の評価（アンケート）・検証を行い、参加者の要望に可能な限り応えることができる運営を心掛け、安定した収入による施設運営を行えるようにしていく。
- ・職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を推進する。
- ・今年度に入り、大きな修繕が重なり支出が増加している。施設の巡回、点検を徹底し、大きな修繕にならないように努力していく。
- ・利用者の声を第一に考え、常に利用者の目線に立った施設運営を全職員一丸となって取り組んでいく。

(4)

平成30年度施設利用者数	134,463人
(平成29年度実績)	(136,143人)
平成30年度収入額	30,028,645円
(平成29年度実績)	(30,057,204円)

■スポーツ教室

・年間

区分	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	体操体育（月）低学年	4月	40	168	
	体操体育（月）高学年		40	272	
	体操体育（木）年長		40	191	
	体操体育（木）低学年		40	266	
	体操体育（木）高学年		40	211	
	器械体操（火・金）小学生	3月	70	417	
	新体操（水）年長～低学年		40	404	
	新体操（水）高学年		40	666	

	サッカー（月）低学年		4 0	5 7 2	
	サッカー（月）高学年		4 0	3 7 8	
	サッカー（水）低学年		4 0	5 7 0	
	サッカー（水）高学年		4 0	3 0 0	
	女子サッカー（木）		4 0	3 0 0	
	レスリング（金）低学年		4 0	2 8 5	
	エンジョイフットサル（月）一般		2 4	2 5 5	
	メタボ撲滅（火）一般		4 0	1 9 7	
文 化	英語教室（火）小学校（5、6年生）		4 0	1 1 5	
年間教室 4月～3月合計			6 9 4	5, 5 6 7	

・短期（1期10回実施）

区分	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	バドミントン	5期	5 0	4 1 8	週2回 実施
	バウンドテニス	5期	5 0	5 1 3	
	エンジョイ卓球	5期	5 0	4 7 1	
	障がいのある方の教室（ひまわり教室）	1期	5	1 1	年1期
短期教室 4月～3月合計			1 5 5	1, 4 1 3	

■利用者数及び収入増減理由

<利用者数>

特定天井耐震対策工事のため11月12日から2月22日までサブアリーナの使用中止期間があり、利用者数の減少が予想されたが、プロバスケットボールの公式戦が計画より4日間多く利用されたことまた、単年度開催によるメインアリーナでの展示会が入ったことにより、前年度並みの利用者数を確保することができた。

<収入>

特定天井耐震対策工事によりサブアリーナが使用できない影響もあり、収入の減少を予想していたが、プロバスケットボールの公式戦が計画より4日間利用が増えたこと、また新規利用による展示会の利用があったこと等により前年度並みの収入を確保することができた。

■事業実施状況

- ・屋外環境整備マニュアルの作成とともに、環境整備実施マップを毎月作成、実施することで環境整備に努めた。
- ・安全対策のため、フィットネスルームに監視カメラを設置した。
- ・フィットネスルームについて、利用者の意見を聞きながら室内温度調節を行う、マシンについた汗を拭くタオルを置くなど、利用しやすい環境を整える。
- ・バリアフリー化のため、体育館と会議室前に設置していたスノコをなくし、代わりとして境界部分に防塵マットを敷いた。
- ・ホームページを一新、ウェブアクセシビリティ化し、見やすい、解りやすい情報提供をした。
- ・年間教室、短期教室について、概ね計画どおり実施した。
障がいのある方の教室（ひまわり教室）について、１０月に５回実施した。
- ・米子市立福米中学校の職場体験（９月２５日から２７日まで）を受け入れた。
- ・夏季の閑散期に県外大学等の合宿を誘致した。（８月１３日から１６日まで）
- ・イベントについて、１月１９日に館長杯バウンドテニス大会、１月２７日に館長杯バドミントン大会を実施した。また、３月２７日に新体操教室発表会を実施した。

■今後の取り組み等

- ・職員の資質向上の為に、研修会や講習会へ参加する。また、施設の管理運営上、必要な資格は取得に努める。
- ・各種競技の大会、学生の合宿を積極的に受け入れ、スポーツ振興の場となるよう努める。
- ・障がい者のスポーツ大会開催に積極的に支援を行う。
- ・展示会・イベントを開催した団体について、継続利用してもらえるよう働きかけ、新たな展示会・イベント開催についても、引き続き誘致を行う。
また、開催日についても、希望される日があいていない場合、他に希望する日がないかを確認し調整する。
- ・競技団体との連絡を密にし、広く県民の皆様にトップアスリーのプレーを体感できる公式戦や教室を開催してもらえるよう引き続き努める。
- ・指定管理者としての業務内容を理解し管理運営を行うとともに、提案書に掲げた項目について、早期の実現を目指し、利用者により良いサービス提供を行う。

(5) 鳥取県立武道館

平成30年度施設利用見込み人数 110,000人
(平成29年度施設利用見込み人数) (110,000人)
平成30年度収入見込額 12,474千円
(平成29年度収入見込額) (12,474千円)

(5)

平成30年度施設利用者数 103,963人
(平成29年度実績) (105,807人)
平成30年度収入額 12,409,283円
(平成29年度実績) (12,135,722円)

■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
柔道教室	4月～3月	80回	1,495人	
剣道教室	4月～3月	80回	1,541人	
弓道教室	4月～3月	80回	1,018人	
空手道教室	4月～3月	80回	1,344人	
なぎなた教室	4月～3月	80回	472人	
銃剣道教室	4月～3月	80回	563人	
ゆったり運動教室	4月～3月	40回	314人	
のびのび運動教室	4月～3月	80回	866人	
カンフー教室	4月～3月	40回	587人	
ストレッチ・トレーニング教室	4月～3月	80回	450人	
K-POPカバーダンス教室	7月～3月	30回	409人	

■イベント

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	鳥取県空手道指導者養成講習会	1回	100人	4月実施
スポーツ	鳥取県弓道指導者養成講習会	1回	40人	6月実施
スポーツ	空手道教室級位審査会	4回	159人	6,9,12,3月実施
スポーツ	ローソンカップ小学生柔道大会	1回	600人	9月実施
スポーツ	武道合同体験会&フリーマーケット	1回	1,200人	12月実施
スポーツ	ローソンカップ高校生弓道大会	1回	300人	12月実施
スポーツ	鏡開き式	1回	900	1月実施
スポーツ	ローソンカップ小学生剣道大会	1回	700	1月実施

■利用者数及び収入増減理由

<利用者数>

今年度は、天井耐震工事を小道場(2)7月から11月、小道場(1)12月から3月まで行い、利用ができなかった影響もあり、全体的に利者が減少した一方で、4月に中国地区関係の事業として、範教錬士会(弓道)と中国地区

講道館形講習会、11月には、中国地区高等学校弓道新人大会が開催され、前年比△2千人となった。

<収入>

昨年度は、中国大会以上の大規模的な大会がなかったが、今年度は5月に中四国医科学生剣道大会、6月に中国地区高等学校空手道大会、そして11月に中国地区高等学校弓道新人大会が開催されたため収入増となった。

■事業実施状況

- ・スポーツ教室、イベントを計画どおり実施した。
- ・武道以外の利用者を増やす為、新たにK-POPカバーダンス教室を開講した。また、のびのび運動教室は、幼児クラスのみの実施であったが、新たに小学生低学年クラスを開講した。
- ・東山中学校（7月3日から7月5日まで3日間）、弓ヶ浜中学校（7月2日から7月5日まで4日間）、福米中学校（9月25日から9月27日まで3日間）、3校から職場体験の受け入れを行った。
- ・各競技団体等の依頼により、外部指導、審判員等で職員を派遣し協力した。
- ・鳥取県西部保育協議会から依頼を受け、幼児運動による講演、実技指導を行った。
- ・武道合同体験会と同時にフリーマーケットを併せて行った。体験会に居合道、合気道を新たに加えた10団体で実施し、多くの体験参加者があった。
- ・鏡開き式開催時にオープニングで高校生による書道パフォーマンスを取り入れるなど新たな取組をおこなった。

■今後の取り組み等

- ・各教室の参加者を増加させるため、当館ホームページやメディアへの広報はもとより、学校や公共施設等へのチラシ配布を行う。
- ・あいサポート企業・団体に承認された為、障がいのある方をはじめ、多くの方に安心して利用していただける施設の充実に取り組む。
- ・植栽等の整備区分を明確にし、環境整備作業を計画的に実施する。秋から冬にかけて落葉の処理、剪定を中心に環境美化に努めていく。
- ・6月にホームページをリニューアルした。誰でも見やすいようアクセシビリティを取り入れた。今後も情報発信により、県内外からの大会・合宿の誘致を行い、県内外からのリピーターをより多く確保できるよう努める。
- ・県体育協会に加盟する武道団体から提供された情報等を生かした運営、情報発信を行い、さらなる武道の普及・振興を図る。
- ・職員の資質向上のための研修等への参加、資格の取得を積極的に行う。
- ・株式会社ローソンの支援を活用したイベントの継続・充実を図る。

＜収益１＞施設関連事業 75,816 千円（70,332 千円）	
１ 体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。	
（１）鳥取県立倉吉体育文化会館	
平成３０年度施設利用見込み人数	１８６，０００人
（平成２９年度施設利用見込み人数）	（１８４，０００人）
平成３０年度収入見込額	２１，５７４千円
（平成２９年度収入見込額）	（１９，１１０千円）

<収益1> 81, 595, 757円

1

(1)

平成30年度施設利用者数

200, 090人

(平成29年度実績)

(157, 668人)

平成30年度収入額

26, 044, 731円

(平成29年度実績)

(19, 025, 794円)

■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
健康づくり	4月～3月	30	261	スポーツ教室
テニス夜	4月～3月	35	453	スポーツ教室
運動不足解消教室	4月～3月	35	514	スポーツ教室
テニス昼	4月～3月	35	442	スポーツ教室
ストレッチ・ジャズ体操	4月～3月	35	567	スポーツ教室
ラージボール卓球&ソフトバレー	4月～3月	35	1,303	スポーツ教室
トランポリン	8月	2	18	スポーツ教室
中部スポーツ	4月～3月	11	84	スポーツ教室
太極拳	7月～3月	25	125	スポーツ教室
ベイベー親子教室	6月	0	0	スポーツ教室
バドミントン昼	4月～3月	35	199	スポーツ教室
バドミントン夜	4月～3月	35	217	スポーツ教室
ボルダリング（火）	6月～3月	25	88	スポーツ教室
ボルダリング（水）	6月～3月	25	31	スポーツ教室
ボルダリング（木）	6月～3月	25	74	スポーツ教室

■文化教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
グラス・シルエット	4月～3月	19	93	文化教室
着物着付け	4月～5月	3	11	文化教室
パソコン	4月～3月	45	629	文化教室
能楽教室	4月～3月	37	84	文化教室
フラワーアレンジメント	4月～3月	12	120	文化教室

パステル和みアート	6 月、1 月	5	7	文化教室
英会話	6 月～3 月	20	111	文化教室
絵手紙	11 月～3 月	10	65	文化教室

■イベント

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	エンジョイテニスカップ	1	6	10 月 15 日
スポーツ	ファミリースポーツの日	1	50	10 月 7 日
スポーツ	くらたいカップバドミントン大会	1	3	3 月 29 日
スポーツ	体文カップラージ卓球大会	1	38	3 月 9 日
スポーツ	ターゲットバードゴルフ	15	63	通年
文化	夏休み文化教室	1	56	8 月 5 日
文化	体文祭	1	1,050	10 月 6 日～ 10 月 8 日
文化	クリスマスイベント	1	71	12 月 22 日
その他	軒下セール	2	88	6 月 9 日 12 月 22 日
その他	県民の日みんなでスポーツを！	1	336	9 月 8、9、 12 日

■利用人数及び収入増減理由

<利用者数>

・大相撲倉吉場所・スポーツクライミングアジア大会の開催、またスポーツクライミングセンターの運用が開始され、概ね年間を通じて利用者数が増加した。

<収入>

・大相撲倉吉場所・スポーツクライミングアジア選手権大会の開催、スポーツクライミングセンターの運用開始により、概ね年間を通じて利用料収入が増加した。

■事業実施状況

・利用者の皆さんに日頃の感謝をこめて「第 11 回スポーツと文化のまつり 体文祭」を定着させ文化団体と協力、当館の文化教室の作品やニュースで見る当

館の一年の歩みを広く見ていただいた。文化教室の一つである能楽教室のパフォーマンスを初日に開催した。ワークショップ（フラワーアレンジメント、パステル和みアート、絵手紙）にて、体験会を実施した。期間中、障がい者就労施設（東伯けんこう、はーとぴあ創造）による販売の受け入れを行った。

- ・受付でのスピーディーなお客さんを待たせない、2人体制や総合案内を設け、利用者へのホスピタリティーある接遇を行った。
- ・町中のオアシスとして環境問題にも配慮した「ウォーキングコース」「一坪花壇」「メダカ保存」「メダカの里親探し」「軒下セール」を実施した。
- ・「あなたの町や村に行きます」にて「介護予防教室」、「認知症予防教室」「八屋ひまわりサロン」県内、市町村社協へ出張指導に出向き地域貢献に協力し、県民の健康増進や利用促進に効果を発揮した。
- ・施設を安全に使っていただくために応急手当普及員4人を配置し、万一来る体制で運営を行った。
- ・有料掲示板の継続により利用者の利便性と地域の活性化に努めた。
- ・毎月の職員会議で利用促進目標を定め、利用促進や結果の反省を次に結びつけるよう努力した。
- ・鳥取県・倉吉市及び県山岳・スポーツライミング協会と連携し、スポーツライミングアジア選手権大会や全日本ユース選手権ボルダリング競技大会を誘致し、運営に協力を行った。
- ・全日本クライミング強化選手やフランス代表選手の合宿の受け入れを行った。また、鳥取県障がい者スポーツ協会や県山岳・スポーツライミング協会と連携し、パラクライミング体験会を行った。
- ・オリンピック・パラリンピックの機運を醸成するため、フラッグツアーに参加し、フラッグの展示を行った。
- ・職場体験等は、河北中学校の受け入れを継続して行った。また、西郷小学校町探検隊や河北中学校の車いす体験会の受入れを行った。
- ・高齢者、障がい者を対象とした「中部スポーツ教室」や、県山岳・スポーツライミング協会と連携し「スポーツクライミング体験会」を実施した。また、スポーツだけでなく文化を楽しむ「夏休み文化教室」等多彩なイベントや教室を開催し利用促進に努めた。
- ・聴覚障がい者等の緊急時対応として、デジタルサイネージを整備した。またウェブアクセシビリティに配慮したホームページの作成を行った。
- ・安心・安全な施設管理運営を継続して実践するため、公認初級障がい者スポーツ指導員、公認上級体育施設管理士、高所作業車運転技能等の資格取得を行った。

((2) 倉吉自転車競技場の管理運営 7,071 千円 (7,071 千円) 倉吉自転車競技場の管理運営を行う。	■今後の取り組み等 - スポーツライミングセンターの利用者増加を目指し、積極的な広報活動を行う。 2人体制の受付を継続するとともに、利用者の声を反映させ、より充実した体制を整えていく。 - 有料掲示板の広報等をさらに行い、収入増を目指すとともに地域活性化に尽力したい。 - 職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を促進する。 - 職員のスキルアップのための研修会を開催する。また、他団体が実施する各種研修会に積極的に参加する。 - 収入増を図るため、イベントの開催を検討する。 - 教室の参加者増を図るため、広報に力を入れる。 - 全国、国際大会等の誘致を促進するため、県や各団体と連携を密にしていく。 - 施設内外の除草等やボランティア団体と連携し、美化活動を強化する。 - 鳥取県と連携し、体育館棟の冷暖房システムの改修工事を行い、利用者にとってより良い施設環境を整える。 (2) 6,906,613 円 - 管理体制 - 場長 1 名 (倉吉体育文化会館館長が兼務) - 職員 2 名 - 鳥取県自転車連盟と共催によりサイクリングフェスティバルを開催 春季サイクリングフェスタ 期 日 平成30年4月29日 (日) 会 場 倉吉自転車競技場 参加者 選手58名 (保護者30名以上) 秋季サイクリングフェスタ 期 日 平成30年10月7日 (日) 会 場 倉吉自転車競技場 参加者 選手47名 (保護者30名以上)
---	---

＜収益 2＞自動販売機設置事業 17,950 千円（18,250 千円）

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

（単位：千円）

	布勢総合運動 公園	鳥取産業体 育館 鳥取屋内ブ ール	皆生市民プ ール	米子産業体 育館	武道館	合計
収入	9,700 (10,000)	2,500 (2,500)	1,250 (1,100)	1,500 (1,500)	3,000 (3,000)	17,950 (18,250)
支出	3,698 (3,653)	966 (966)	588 (580)	680 (610)	1,284 (1,284)	7,216 (7,101)
収益	6,002 (6,348)	1,534 (1,534)	662 (662)	820 (890)	1,716 (1,716)	10,734 (11,150)

（ ）内は前年度数字

＜収益 2＞ 17,843,045 円

自動販売機設置状況

（単位：千円）

	布勢総合運動 公園	鳥取産業体 育館 鳥取屋内ブ ール	皆生市民プ ール	米子産業体 育館	武道館	合計
収入	9,421 (10,523)	2,369 (2,672)	1,108 (1,052)	2,085 (2,170)	2,860 (2,948)	17,843 (19,365)
支出	3,639 (3,684)	947 (968)	573 (569)	646 (651)	1,262 (1,269)	7,067 (7,141)
収益	5,782 (6,839)	1,422 (1,704)	535 (483)	1,439 (1,519)	1,598 (1,679)	10,776 (12,224)

（ ）内は前年度数字

